



いよいよリーグ戦開幕！3部の舞台へ

- 1 今月の活動報告&春季リーグ戦について
- 3 オープン戦試合レポート
- 4 新歓活動状況のご報告
- 5 新入部員紹介
- 8 一球会だより ～H17卒 野条泰永様より～

今月の活動報告&春季リーグ戦について

4月8日(木)より、長い春休みがあげて春学期が始まりました。授業から慌ただしく部活に参加する部員の姿が戻り、大学も野球部も新学期らしく活気づいています。野球部の活動は1日練から午後練へとシフトし、短い時間を最大限充実したものにできるよう学年ミーティングやファミリー(縦割り班)ミーティングを重ねながら日々の練習に励んでいます。また、4月26日現在新たに9名の新入部員を迎えました！野球部は総勢47名での活動となりますが、三部で勝てるチームとなるために、一人一人がチームの成員である自覚をしっかりと持ち、全員でこれからの試合に向かって参ります。良いご報告ができるよう努めて参りますので、変わらぬご声援の程よろしくお願い致します。

春季3部リーグ戦について、日程・会場等が昨日発表となりましたので以下の通りお知らせいたします。なお、緊急事態宣言発令期間は無観客試合となります。宣言解除後のご観戦の可否については確定し次第ご案内させていただきます予定です。SNSをはじめ、部 HP 内試合動画、マネージャーブログでの試合レポートも随時更新して参りますので、試合の様子はぜひそちらをご覧ください！

(文:4年 MG 浅川)

試合日	開始時刻	対戦カード	球場
5/1(土)	13:00	上智 vs 一橋	上智大学グラウンド
5/2(日)	13:00	一橋 vs 上智	上智大学グラウンド
5/8(土)	13:00	順天堂 vs 一橋	青山学院大学グラウンド
5/9(日)	10:00	一橋 vs 順天堂	セガサミー野球場
5/15(土)	13:00	学習院 vs 一橋	亜細亜大学グラウンド
5/16(日)	10:00	一橋 vs 学習院	セガサミー野球場
5/22(土)	13:00	成蹊 vs 一橋	セガサミー野球場
5/23(日)	10:00	一橋 vs 成蹊	(未定)
5/29(土)	13:00	芝工 vs 一橋	亜細亜大学グラウンド
5/30(日)	10:00	一橋 vs 芝工	日本大学グラウンド

(一橋の対戦試合のみ掲載)

※詳細は東都大学野球連盟公式ホームページにてご確認ください。

<http://www.tohto-bbl.com/gameinfo/schedule.php?YEAR=2021&SEASONID=01&LEAGUEID=03>

#5 五井晴己（3年・内野手）

練習が再開して約1ヶ月が経ちました。4月に入ってからは、実戦的な練習にも取り組んだり、紅白戦やオープン戦をこなしたりするなかで、冬を越えて成長した点や改善すべき課題が見えてきました。各自がリーグ戦までの期間でしっかり調整して、チームとしてベストな状態で試合に臨めるようにしていきます。

今のチームは3部での経験がほとんどありませんが、その分失うものはないという気持ちで臨めると思います。この先3部に定着できるよう、一戦必勝で頑張ります。個人としても、チャンスでの一打、ノーエラーを目標に、勝利に貢献できるよう精進します。引き続きご声援のほどよろしくお願い致します。



#47 持丸航毅（3年・投手）

リーグ戦も近くなり、紅白戦やシートバッティングなど実戦的な練習メニューも増えてきました。自分は肩のコンディションがあまり良くない中でリーグ戦を迎えることとなりますが、一刻も早く状態を上げて、投打共にチームの核となって勝利に貢献できるよう頑張っています。1～3月は全体で集まって練習することができませんでしたが、各々が自らの課題を克服するため自主練習に取り組み、その成果が少しずつ出てきているようにも感じます。

今季からは3部リーグで戦うこととなりますが、自分たちに不足はないと思っています。相手を過大評価することなく、挑戦者として貪欲に喰らい付いていくので、是非応援をよろしくお願いします。

オープン戦試合レポート

4月2日、6日に行われた東京学芸大学、東京外国語大学とのオープン戦の様をお伝えいたします。

4/2(金) 東京学芸大 vs 一橋大 @あきる野市民球場

○ 3-7

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
学芸大	0	0	0	0	0	1	1	0	1	3
一橋大	0	0	2	0	0	2	0	3	×	7

初回、先発佐藤が軽快なピッチングで三者凡退に抑え、流れをつくります。試合が動いたのは3回。先頭打者山本が四球で出塁し、内野ゴロで進塁、1死二塁とすると、持丸のタイムリースリーベースヒットで先制します。さらに相手のエラーで1点追加し、この回2点を挙げます！6回に1点を返されますが、その直後の攻撃、三者連続四球で出塁し、無死満塁のチャンスを迎えると、青田の犠飛と相手のエラーで2点を追加。さらに1点を返され、2-4で迎えた8回裏、小島が死球、安土が2ベースヒット、和田が四球で出塁すると、続く五井の内野ゴロ、本吉のタイムリーヒットでこの回一挙3点。9回表に2死満塁のピンチを迎え、1点を失うも後続を断ち、試合終了。3-7で勝利を収めました。



(文:3年 MG 三浦)

4/6(火) 東京外国語大 vs 一橋大 @所沢航空記念公園野球場

● 6-5

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
外語大	0	0	0	2	3	0	0	1		6
一橋大	2	0	0	0	2	0	1			5

※時間の都合上8回表までで終了。



初回、先頭阿佐美がしっかり球を見極め一塁に進みます。その後、持丸はライトヘ力強い打球を放ち1点を追加、またピッチャーの四球により1点を追加し順調な滑り出しを見せました。しかし3回表、外語大の攻撃では一橋のバッテリーが調子を崩し2点を奪われました。5回表は3失点と突き放されますが、続く5回裏、山本は一年生ながらも2ベースヒットという活躍を見せトータルで2点を追加しました。続く7回表にも1点を追加しましたが、チャンスの場面で打線が繋がらず、6-5で敗戦と悔しい結果に終わりました。(文:2年 MG 早渕)

新歓活動状況のご報告

新歓活動について、先月に引き続き報告させていただきます。

4月は対面での新歓活動が一部許可されたため、4月5日に毎年恒例のソフトボール大会を開催しました！前日から雨が続けていたもののグラウンドの状態が悪くなかったため、小雨が降る中ではありましたが、無事開催出来ました。

現役部員の後輩やサークル紹介に参加してくれた新入生など計14名の新入生が参加してくれました。昨年満身に新歓を受けられなかった新2年生にとっても初めてのソフトボール大会となり、新入生も現役部員も楽しくプレーしながら交流を深めることが出来ました。そして、このうち9名の新入生が入部してくれました！

マネージャー希望者を含め硬式野球部に興味を持っている新入生はまだほかにもいるため、より一層力を入れて新歓活動に取り組んで参ります。

(文:3年 MG 古川)



新入部員紹介

4月26日現在までに入部した9名の新入生をご紹介します。今後の活躍にどうぞご期待ください！

【①学部 ②出身校 ③投打 ④希望ポジション】

尾実大地（おざね だいち）

- ①商学部
- ②東京学芸大学附属(東京)
- ③右投右打
- ④ショート, サード, セカンド

いち早くレギュラーになりチームに貢献できるよう頑張ります。
肩とミート力に自信があります。よろしくお願いします。



神谷浩太（かみや こうた）

- ①法学部
- ②小石川中等教育(東京)
- ③右投右打
- ④センター

全力で頑張ります！

川嶋敬太（かわしま けいた）

- ①社会学部
- ②小石川中等教育(東京)
- ③右投右打
- ④キャッチャー

自分の可能性を信じて後悔のない生活を送りたいです！
よろしくお願いします。





桐生大暉（きりゅう ひろき）

- ①経済学部
- ②中央大学附属横浜(神奈川)
- ③左投左打
- ④ピッチャー

高校のときに悔しい思いをしたので、大学でも硬式野球を続けることに決めました。怪我をしないでチームの力になれるよう頑張ります。よろしくお願いします。

重松大誠（しげまつ たいせい）

- ①法学部
- ②西大和学園(奈良)
- ③右投右打
- ④外野手

関西弁で明るく盛り上げていきたいと思います。
よろしくお願いします。



長谷川志温（はせがわ しおん）

- ①経済学部
- ②横浜市立南(神奈川)
- ③右投右打
- ④セカンド, ショート

高校野球未経験者ですが、少しでも早くチームに貢献できるような選手になれるよう、全力を尽くします。
よろしくお願いいたします。

前田大輔（まえだ だいすけ）

- ①社会学部
- ②湘南(神奈川)
- ③右投右打
- ④セカンド

全ての面でパワーアップして、チームの勝利に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いします。





松下智紀（まつした ともき）

- ①商学部
- ②海城（東京）
- ③右投右打
- ④セカンド, ショート

少しでも早く戦力になれるよう、まずは体づくりを中心に頑張ります。

室祥太（むろ しょうた）

- ①商学部
- ②都立西（東京）
- ③右投右打
- ④ファースト

チームの力になれるよう努力します。よろしくお願いします。



部ではまだまだ新歓活動を行っています。また新たに1年生が加わりましたらご紹介していきますので、どうぞお楽しみに！温かいご声援をどうぞよろしくお願いいたします。

一球会だより ～H17卒 野条泰永様より～

マネージャーさんより丁寧な依頼文を頂戴いたしまして、僭越ながら原稿を掲載いただくことになりました、2005年(平成17年)卒、福井県立藤島高校出身の野条と申します。現役時代のポジションはピッチャーです。約4000字の長文になりましたが、ご笑覧ください。

【第1 私の一橋大学硬式野球部時代】

少年野球、ボーイズリーグと小中6年間にわたって野球を続けましたが、高校では野球部に入りませんでした。しかしながら、私の中で野球への未練は徐々に強くなっていき、高校3年生になる頃には「大学に入ったら、今度こそ野球部に入ろう」と心に誓いました。

一橋大学へ進学し、硬式野球部へ入部すると、野球部に入らなかった高校時代の後悔の分、野球へ打ち込みました。残念ながら、4年間を通じて、私のプレーヤーとしてチームへの貢献はほぼ皆無でした。とはいえ、数は少ないながらも、時折、期待をかけられてリーグ戦や国公立戦などでマウンドにあがることもありました。起用してくれた当時の監督、主将、チームメイトには、大変感謝しています。さらに、大学3年冬の広島商合宿で広島商の迫田監督(当時)から直々に「ええボールを投げるんじゃ」と広島弁で褒めていただいたこと、大学4年時に、練習見学に来られた2学年上のエース井野健太郎さん(平成15年卒)から「野条が凄く良いボールを投げている。」と人づてに褒めていただいたこと(毒舌の井野さんに野球のことを褒められたのは、そのときが唯一。)など、尊敬する野球人からプレー面で褒め言葉をいただいたことも感慨深いものでした。リーグ戦でプレーヤーとして結果を残すことはできませんでしたが、これらの事柄は、プレーヤーとしての私の勲章です(井野さん、ありがとうございました。)

さらに言えば、プレーヤーとして結果を残すことはなくとも、野球部の一員として達成感や満足感を得ることが出来ました。最上級生で迎えた2004年(平成16年)の1年間、春リーグは4部2位、秋リーグは4部優勝で入替戦は敗退という結果でしたが、主将だった阿部宗平(平成17年卒)の卓越したキャプテンシーのもと、「明るく、楽しく、元気に」をモットーに個性豊かなメンバーが勝利に向けて結束した1年間でした。とりわけ、4部優勝、3部昇格という目標に向けてチームが結束していった秋のリーグ戦と入替戦のことは強く心に残っています。私の主たる役割はベンチから大声でヤジを飛ばすことでしたが、試合で直接プレーするというだけでなく、チームの一員としてみんなで4部優勝を成し遂げた確かな達成感や満足感を得ました。

最後になりますが、4年春まで久木田監督、4年秋は草野監督とOB監督が指揮にあたっておられましたが、両監督とも毎日毎日グラウンドを訪れて熱心に指導していただきました。大変感謝しています。

【第2 横山潤・元部長の訃報に触れて】

硬式野球部の元部長である横山潤先生が2020年(令和2年)9月30日に亡くなられたとの報に接しました。横山先生は、リーグ戦には背番号52のユニフォームを着てベンチに入り、平日の練習にも頻りに顔を出す熱心な部長でした。横山先生が余りに長時間グラウンドにいるので、選手時代は「ちゃんと仕事してるのかな」と失礼ながら心配していたぐらいで、横山先生が法制審議会の部会長や国際スポーツ仲裁所仲裁員を歴任した国際私法の大先生であることを私が知るのには、法科大学院へ進学した後になってからでした。

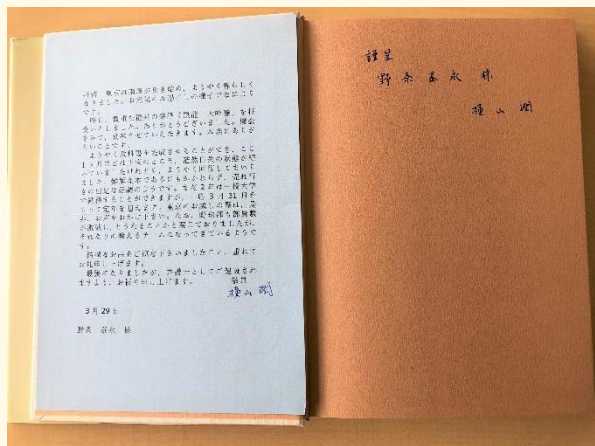
野球のこと以外についても横山先生から親身になった助言をしばしばいただきました。学部4年生のときに法科大学院受験に失敗した私は、「留年して学部に残って、来年もう1回一橋の法科大学院を受けなさい」

という横山先生の助言にしたがい、学部に残留し5年生としての1年間に勉強に没頭しました。結果、翌年の一橋大学法科大学院の合格へ繋がり、横山先生の適確な助言には感謝しきりでした。

横山先生は、法科大学院の授業でも野球部のことについて雑談するなど、ずっと一橋大学硬式野球部の熱心なファンであられました。私が福井に戻ってからは年賀状のやり取りぐらいでしたが、いつか横山先生と思い出話に花を咲かせたいと思っていました。それがかなわず、とても悲しいです。

横山先生のご冥福をお祈りいたします。

(写真)2012年3月、先生が上梓された「国際私法」をご恵贈いただきました。



【第3 弁護士野球】

現在、私は、福井県福井市に法律事務所を設けて、弁護士として仕事をしています。

福井県内に弁護士は124人しかいません(2021年4月1日時点における法人会員を除いた福井弁護士会の登録会員数。)。国内で一番所属弁護士数が多い西村あさひ法律事務所(東京都千代田区)の弁護士数は600人を超えるので、福井県内の弁護士全部を集めても、西村あさひ法律事務所という単一の法律事務所の5分の1程度の規模にしかありません。それくらい、福井弁護士会は小さな団体です。

そんな小さな福井弁護士会に、2010年(平成22年)、野球部が設立されました。私が会員登録した2010年(平成22年)2月当時、福井弁護士会の会員数は現在よりもさらに少ないたった73人で、当然ながら野球部はありませんでした。しかし、東京や大阪の弁護士会には野球部があると見聞きしていた私は、当時の福井弁護士会長であった井上毅弁護士に福井弁護士会での野球部創設を直談判するというモンスター新入会員ぶりを発揮します。そうしたところ、ご自身も藤島高校野球部OBで大の野球好きだった井上毅弁護士は、多忙な会長職の合間を縫って野球部創設に奔走され、同年、福井弁護士会野球部「フクロウズ」が創設されました。

爾来、全国に約30存在する他の弁護士会野球部と「日弁連野球大会」で全国優勝をかけて切磋琢磨しています。福井は参加初年度から10年連続予選敗退、まだ全国大会にはたどり着けていません。聞くところによれば、私が4年生のとき1年生だった村松晃吉くん(平成20年卒)は、強豪東京ローヤーズの抑え投手として日弁連野球全国大会で胴上げ投手になったそうです。たいへんに羨ましいです。



(写真)毎年、中部弁護士会連合会(愛知・岐阜・三重・石川・富山・福井)の6会で岐阜・長良川球場を借りて野球大会を実施しています。



弁護士同士、普段の事件対応では対立当事者の代理人として激しくやり合うこともあります。それでも、週末は事件を離れて野球グラウンドに集まり、「明るく、楽しく、元気に」そして真剣に、チーム一丸となり勝利を目指して野球に取り組んでいます。

(写真)一橋大学硬式野球部同期の鈴木弘子弁護士(平成17年卒)に贈呈いただいたボールケース、大切に使用させていただいています。

【第4 福井での草の根リクルート活動】

前述の井上毅弁護士のご子息(以下、「井上選手」といいます。)は2016年～2018年(平成28～30年)に藤島高校野球部に所属していました。強肩巧打の捕手だった井上選手にぜひとも一橋大学硬式野球部に進んで欲しいと考えた私は、顔をあわせるたびに「一橋を受験してよ」「一橋の野球部に入ってよ」とお誘いの言葉をかけました。さらに、野球部の現役マネージャーさんをお願いして新歓パンフを送ってもらって井上選手にお渡ししたり、東京家裁立川支部の家事調停に出頭した際には谷保天満宮まで足をのばし、頼まれてもないのに勝手に井上選手の学業成就(＝一橋大学合格)をお祈りしたり、片思いのリクルート活動を続けました。

そうして井上選手が高校3年生として迎えた2018年(平成30年)夏の選手権大会福井県予選、藤島高校対丹生高校の一回戦を、私は球場スタンドで観戦しました。藤島高校ナインは、140キロ左腕を擁する丹生高校(翌2019年夏の福井県予選では準優勝)にまったく引けを取らない戦いぶりを見せ、タイブレークに突入した延長15回の熱闘の末、見事な勝利を果たしました。試合終了時、私を含むスタンドの観客は、素晴らしい試合を展開した両校の選手へ向けて総立ちで称賛の拍手をおくりました。高3夏を過ぎて冬、井上選手は一橋大学の二次試験にチャレンジされましたが、残念ながら合格とはなりませんでしたが(とはいえ、二次試験にチャレンジしてくれたことは、本当に嬉しかったです)。

他方、井上選手の同級生で前述の丹生高校との一戦にも出場していた五井選手が一橋大学に進学するという吉報が私の耳に入りました。五井選手の一橋大学合格の報を聞くや、私は、一橋大学体育会の大物フィクサーである名物すた井サッポロラーメン国立本店船津氏(以下、「西すた大将」といいます。)に連絡をとり、「藤島高校から選手が行きます。硬式野球部に入部するようお力添えください。」と五井選手の入部に向けたご協力(工作活動)を依頼しました。その後、西すた大将から「ダメだ、準硬式に取られる!」という諦めの連絡を受け取った時分もありましたが、最終的に五井選手は見事に硬式野球部に入部され、私にとって望外の喜びでした。ただし、五井選手の入部はご本人の純然たる自由意志に基づくものであり、私のリクルート活動や西すた大将の工作活動との間に何ら因果関係が存しないことを付言します。

今でも、福井で知り合いのご子息が野球をやっていると聞きつけては、「一橋を受験してよ」「一橋の野球部に入ってよ」という草の根のリクルート活動を継続しています。

私にとって、一橋大学に進学したことも、硬式野球部で4年間を過ごしたことも、人に自信をもって勧めることの出来る大満足の選択でした(生存者バイアスにすぎない可能性はあります。)。今後も、一橋大学で4年間真剣に野球に取り組むという選択を福井の中高生に伝承すべく、辺境の地福井で細々と草の根リクルート活動を続ける所存です。

Donation ~100周年記念事業寄付金募集の状況~

2021年4月26日現在、いただいたご寄付は

計113名、総額 13,793,300 円 となっております。誠にありがとうございます。

最新の寄付募集状況やご寄付いただいた方のお名前などの詳細は、ホームページ内「OBOGの方へ」の100周年記念事業のページ(<https://hitotsubashi-bbc.com/ikkyukai3/100-2/>)に掲載しております。

今月も一球通信をご覧くださいましてありがとうございます。また、お忙しい中ご協力いただきました野条様に心より御礼申し上げます。

いよいよ、春季リーグ戦の初戦が今週末に迫ってまいりました。各校の活動状況や試合会場の確保などの面で調整が難航しましたが、多くの関係者の方のご尽力のもとで無事に試合が開催できること、昨年叶わなかった“春のリーグ戦”が行えること、大変嬉しく思います。3年ぶりに3部の舞台に復帰した今季は、部にとって特別な春です。目標の3部優勝・定着に向かい、改めてチーム一丸となって、部員一人一人が最大限に力を発揮し戦い抜いていきたいと思っております。皆様の熱い応援のほど、どうぞよろしく願いいたします！

リーグ戦のご観戦について、少なくとも緊急事態宣言期間中は全試合無観客制となり、皆様に球場に足をお運びいただくことはできなくなってしまいました。大変残念ではございますが、試合当日の情報はInstagram・Twitter等のSNS、またHP内の試合速報でご確認いただけるほか、1試合まるごとご覧いただける試合動画も随時配信していきますのでぜひご覧ください！

そして、ご紹介しましたように、昨日までに計9名の新たな部員が加わりました！今年度もオンライン中心の新歓となる中で、チームの一員として共に進んでいくことを決めてくれた新入生がこれだけいることをありがたく思うとともに、まずは上級生がしっかりとサポートしながら、ぜひチームに新しい風を吹かせてもらいたいなと期待しています。まだまだ部に関心を抱いてくれている新入生が多いため、次号以降もご紹介してまいります。どうぞお楽しみに。

この春のリーグ戦で必ず満足いく結果を残せるよう、まずは今週末の上智大戦から一つ一つ勝ち星を重ねていきたいと思っております。皆様の温かいご支援、ご声援のほど何卒よろしく願い申し上げます。

再びの緊急事態宣言の中ですが、皆様どうぞお健やかに過ごしてくださいませ。

一橋大学硬式野球部 3年
内海和音

ご寄稿のお願い

一球通信では OBOG の皆様からのご寄稿文を募集しております！
現役時代の思い出や最近のお仕事・ご活動の様子について、創部100周年に向けてのメッセージなど、テーマ・分量は問いませんのでどうぞお気軽にお寄せください。
また、こちらから直接ご依頼させていただく場合もございますので、その際にはご協力いただけますと幸いです。お忙しいところお手数をおかけしますが、皆様どうぞよろしくお願いいたします。

▼一橋大学硬式野球部公式ホームページはこちら

<https://hitotsubashi-bbc.com>

▼「OBOGの方へ」ページ URL

<https://hitotsubashi-bbc.com/ikkyukai3/>

(パスワード: hitbbc)



公式 Instagram、Twitter のフォローもぜひお願いいたします！



<https://instagram.com/hit.baseball>



https://twitter.com/hit_baseball

ご意見・ご要望、配信停止等のご連絡はこちらまで↓
hit.u.bbc.mg@gmail.com